

◆第81回定期全国大会決定事項に基づく申し入れ

【大阪支部】和歌山県、大阪府泉大津市、和歌山県白浜町の各自治体に申し入れ

大阪支部は、12月22日に和歌山県の白浜町、23日に大阪府泉大津市、24日には和歌山県に対しそれぞれ申し入れを行った。

白浜町へは大滝恒大阪支部長と井上寛信執行部員が申し入れを行い、井濶誠白浜町長にご対応いただいた。泉大津市では大滝大阪支部長と大門貴光新日本海フェリー職場委員が申し入れを行い、森田雅明泉大津市副市長にご対応いただいた。和歌山県への申し入れは大滝大阪支部長と南海フェリーの濱口和博職場委と現場組合員の角野広さん、そして浦口高典和歌山県議会議員にご同行いただき、下宏和歌山県副知事にご対応いただいた。

各自治体への申し入れでは大滝大阪支部長から申し入れ文書を手渡した上で、海に親しむ活動や船員政策を実現するための本組合の活動を説明し、強く要請した。その後の意見交換でそれぞれの考え方が述べられ、理解を深めた。

【各自治体の対応】

和歌山県

- ①フェリーに対して新型コロナウイルス対策補助政策は実施している。本日の要望を受け、状況は理解したが他の輸送業もあることから、一つの業界、航路にのみ税金を投入して支援することは難しい。現在実施しているキャンペーンを活用し、航路の存続につなげてもらいたい。
- ②和歌山県にとっても航路は重要と考えており、航路の維持・存続に向けてできることはやっていきたいとの考えが示された。

白浜町

- ①海に親しむ活動について、当地区は海が身近にあるものの、子どもたちが経験する機会が少ない。今年は新型コロナウイルスの影響もあったが体験乗船や出前講座などは、ぜひ継続していただきたい。また、今後は他校の参加も含めて検討していきたい。
- ②四面を海に囲まれているわが国において、船員職業の重要性及び特殊性は理解していることから、後継者確保・育成問題についてできる限り協力していきたいとの考えが示された。

泉大津市

- ①泉大津市に寄港しているフェリーとは、災害協定やふるさと納税などさまざまな関わり合いがあり、市民もフェリーを多く利用していることから、航路の維持・継続のためにできることは協力したい。また、フェリーでの体験乗船や漁協主催のイベントなども実施されており、子どもたちに海へ関心を持ってもらうことは必要だと考えている。
- ②船員税制については、内容は理解するが現時点で導入することは難しいと認識しており、引き続き検討させていただきたい。

大阪支部は今後も活動方針の具現化に向け、ほかの自治体に対しても申し入れを行い、活動を展開していく。